寄附金の使途（寄附対象事業・プロジェクト）

「第2期美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標の達成に資する事業・プロジェクトに活用します。

産業を元気にして安定した雇用を創出する

地域資源を活かした食や観光、基幹産業である農業、ものづくり産業を中心とした地域経済をけん引する産業の競争力強化を図り、安定した雇用を創出するとともに、中心市街地の賑わいづくり、新規創業等を促進し市内消費の拡大や域内循環を高め、地域経済の活性化を図ります。

- 地域経済を支える中小・小規模企業の振興
  （企業立地の促進、中心市街地の賑わいづくり など）
- 農業経営の持続・発展
  （担い手の育成・確保、農産物の高付加価値化及び販路拡大 など）
- 稼げる観光の振興
  （観光プロモーションの推進、地域資源を活用した特産品の開発 など）
- 若者の市内就職の促進　など
  （市内優良企業等の情報発信、各種研修会及び資格取得支援 など）

美唄の魅力を発信し新しいひとの流れをつくる

今後、将来のまちづくりを担う人材の育成を図ることはもとより、社会減を減少させるため引き続きU・Iターンなどの移住・定住促進、外国人材の受入れ環境整備、美唄独自の歴史・文化の発信などによる人の呼び込み、呼び戻しに取り組むとともに、新たに関係人口の創出・拡大を図り、首都圏等と継続的なつながりを持つ取組を進めるなど、本市の魅力を発信し新しい人の流れをつくります。

- 移住・定住の推進
  (各種助成金の充実、UIJターンの推進 など)
- 関係人口の創出・拡大
  (ふるさと美唄応援団の拡充、ふるさと納税制度のPR、返礼品の拡大 など)
- まちづくりを支える人材の育成
  (グリーンルネサンス推進事業、びばい・おいしい給食事業 など)
- 外国人材の受入れ拡大と共生
  (外国人材の受け入れ体制の構築 など)

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

本市は、山や川、田園が広がる豊かな自然環境に恵まれ、歴史や伝統文化が息づくまちでもあり、こうした環境を十分に活かし、地域住民や社会全体が力を合わせ、子育て世代の方たちが子育てしやすいと感じる環境を整え、全ての子どもたちが元気に育つまちを目指します。

- 結婚、出産、子育てを支える環境づくり
  (子育て相談・情報発信の充実、子ども医療費助成事業 など)
- 働きながら子育てしやすい環境づくり
  (一時保育事業、子育て地域ささえあい事業 など)
- 子どもたちの安全・安心を見守る環境づくり　など
  (保育環境改善事業、子どもの遊び場の充実 など)

人口減少下においても、誰もが幸せに暮らせるまちをつくる

人口が減少しても誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らすために、保健・医療・福祉サービスが充実した体制を構築するとともに、地域で安心して暮らせるように、地域コミュニティ活動の活性化、消防・防災・防犯体制の充実を図り、すべての人が人としての尊厳を尊重し、市民の誰もが社会参加できるまちづくりを進めます。

- ひとが健康、まちも健康なまちづくりの推進
  (健康づくりの推進、地域医療体制と市立美唄病院の充実 など)
- 生きがいづくりの推進
  (生涯学習・スポーツの振興、芸術・文化の振興など)
- 安全・安心な地域づくりの推進　など
  (地域で支える環境づくり、災害に備えた活動の促進 など)

重点的に取り組むプロジェクト

ホワイトデータセンタープロモーション事業

豪雪地にとっての課題である雪を使用した冷熱エネルギーとサーバー廃熱を活用した、環境に優しい熱の事業展開を目指している「ホワイトデータセンター(WDC)構想」。

雪冷熱エネルギー技術を活かしたWDCの更なる誘致を始め、食関連産業やＡＩ・ＩｏＴ等を活用するスマート農業に関連する企業、再生可能エネルギー事業等の誘致促進に活用します。

美唄ブラックダイヤモンズ応援プロジェクト

北海道初の野球独立リーグの立ち上げ当初から、美唄市に本拠地を置く球団「美唄ブラックダイヤモンズ」。

野球や地域活動等を通じ、労働力不足の解消や交流人口の増加、関係人口の創出、コミュニティの形成、シビックプライドの醸成など地域に大きな活力をもたらしています。

本プロジェクトで集まった寄附は、球場等の環境整備、スポーツを通じたこどもの育成・地域の振興、交流人口・関係人口拡大事業など、地域活性化に向けた取組に広く活用します。

美唄シティプロモーション推進事業

様々な困難が予想される美唄市の2040年を見据え、本事業では「美唄に暮らす喜びと誇り」を高めると同時に、関係人口の増加を目指しています。

その第一歩として2022年は、10～30代の美唄市民と『美唄の未来に夢を描く委員会』を立ち上げ、これからまちが進むべき指針をつくるために議論を重ねてきました。大切にしたのは、美唄の未来を担う若者が、若者の視点でまちの魅力を切り取り、発信の仕方を考えたことです。

美唄の軸となる魅力を基にした「美唄ブランド」の発信や、市内外でのワークショップ、イベント実施のほか、新たに整備する交流拠点の運営に活用します。詳しくは公式サイトをご覧ください。

Bibai
Be Beautiful
美しくあれ。

公式HP

これまでに寄附いただいた企業のみなさま

美唄市ホームページ
「企業版ふるさと納税」から
ご覧いただけます。